

北海道八雲高等学校

【八雲町】

はじまりは？

北海道八雲高等学校総合ビジネス科では、学習の深化を目指し実習活動に力を入れています。豊かな自然に生まれ、生産される農水産物は八雲町の魅力そのものであり、それらを活かした商品の考案、生産物の流通拡大の方策等を考えることに力を入れて取り組んでいます。

高校生の立場で情報発信や新しい産業の可能性を探るなど生きた学習を実践することで、町おこしの一環となることを一つの目標として、各関係機関と連携した活動を進めながら八雲の魅力を再発見することに努めています。



もち米生産者から指導を受けている様子

おもな活動



地元食材を使用した「ふたみおこわ」を販売してる様子

八雲町の特産品であるホタテを町内水産加工会社の協力のもと生徒が製造した「ホタテキッズ」はヒット商品となり、各販売実習では主力商品として人気を博しています。

また、平成24年より八雲町特産の「風の子もち米」の消費拡大を目指した取り組みを行っており、オリジナル商品「ホタテキッズ」と「風の子もち米」、そして熊石地区の特産品である「あわび」を用いて考案した「ふたみおこわ」は、平成25年に行われた高校生チャレンジグルメコンテストにおいて準グランプリに輝くとともに、八雲町観光物産協会より二海やくもメニュー第2号として認定されています。

今年度は、生産現場について知るために、農家の協力を得て田植え作業を体験しています。

ここが自慢

【八雲をビジネスする】

八雲高等学校総合ビジネス科は「八雲をビジネスする」を学科のコンセプトとして、様々な実習活動を行っています。地域の農林水産物を活用し、商業に関する学習は机上にとどまらず体験活動を中心とした生きた学習となるように活動しています。また、今年度から取り組んでいる八雲町が発祥であるバター飴を商品化する活動では、生徒自ら地域の歴史を学び多くの人々から意見をもらい進めています。このような活動は地元のもち米生産者、農協、水産加工会社など地域住民の協力が得られて可能なものであり、今後とも地域との連携を深めながら取り組みの充実を図っていく考えです。



ホタテキッズの製造の様子

データ

- 代表者:佐藤 敏行 校長／設立:1923年／生徒数:315名
- 連絡先:二海郡八雲町住初町88番地 北海道八雲高等学校
- 電話:0137-63-2105
- FAX:0137-63-2106
- HP:<http://www.yakumo.hokkaido-c.ed.jp/>